

2022年度 事業報告書

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

学校法人マリア学院

1. 法人の概要

名 称 学校法人マリア学園（昭和63年4月8日法人設立）
代表者 理事長 若林 公代
住 所 大阪府高槻市野見町2番15号
電 話 072-675-1278
FAX 072-675-1258

設置する学校

- ①住所 大阪府高槻市野見町2番15号
名称 高槻マリア・インマクラダ幼稚園
- ②住所 岡山県倉敷市北畝2丁目17番37号
名称 倉敷マリア・インマクラダ幼稚園
- ③住所 千葉県市原市辰巳台西3丁目11番3号
名称 市原マリア・インマクラダ幼稚園

役 員 理事 6名 ・ 監事 2名
評議員 13名
理事会 6回開催
評議員会 5回開催
職 員 41名（高槻マリア・インマクラダ幼稚園）
26名（倉敷マリア・インマクラダ幼稚園）
28名（市原マリア・インマクラダ幼稚園）

2. 事業概要

《教育理念》

神が子どもたちに望んでおられることを達成し、子ども自身が自分の能力を自分自身で成長させることができるように、全教育共同体と一致して、知性の源を育む。知性とは、感謝の心・自分で考える力・自己肯定・共感力・あきらめない心などを指し、卒園後の生涯に亘って自ら行動する力となる。

《教育方針》

教育理念の達成に向けて、次の3つの教育方針で臨む。

- ① 神様とまわりの人たちから愛されていることに気づく(宗教教育)
- ② 幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる(モンテッソーリ教育)
3~6歳の縦割り保育とモンテッソーリの自由選択活動
- ③ 集団生活の出会いと関わりを通して、神様とまわりの人を大切にする(平和教育)

(高槻マリア・インマクラダ幼稚園)

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			4	90	3	95	3	95	10	280
2021年度		26		82		84		75	8	267
2022年度		29		83		82		81	8	275
2023年度		39		72		84		84	8	279

《保育時間》

月～金曜日 午前8時30分～午後2時（但し、水曜日は午後11時45分まで）

土曜日 休園

《納付金等の費用》

保育料 年額 336,000 円（12分割均等納付、25,700 円/月無償化）

施設費 年額 20,000 円

教育充実費 年額 30,000 円

冷暖房費 年額 5,000 円

バス維持費 年額 5,000 円

バス利用料 月額 4,000 円

ドライブスルー維持費 年額 5,000 円

給食費 実施せず（4回弁当持参）

《入園時の費用》

入園料 120,000 円

検定料 5,000 円

《預かり保育の内容及び費用》

- ・月～金曜日 午前8時～保育開始時、保育終了後～午後6時30分

午前8時～保育開始時 200 円/日

午後保育終了後～5時30分 800/日

午後保育終了後～6時30分 1,100 円/日

午前保育終了後～5時30分 1,100 円/日

午前保育終了後～6時30分 1,400 円/日

（月極）保育終了後～4時30分 10,000 円/月

（月極）保育終了後～5時30分 15,000 円/月

（月極）保育終了後～6時30分 19,000 円/月

- ・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

長期休業日 1,500～ 1,800 円/日

18,000～ 22,000 円/月

《主な行事》

入園歓迎会、運動会、参観日、七夕、盆おどり、プールあそび、おとまり保育、消防署見学、安全教室、おもほり、おもパーティー、マリア・フェスタ、七五三、クリスマス会、キャンドルサービス、おもちつき、節分、ひかりのこコンサート、スポ

ーツフェスティバル、お別れ遠足、お別れパーティー、卒園感謝式、卒園児の集い
(小学生のお仕事、中・高・大学生の集いなど)

《施設関係》

園地面積 2,268.00 m² 運動場面積 1,041.40 m²

《固定資産関係》

わくわく人工芝、印刷機、床置きエアコン、カール・チェアー、パソコン、園管理
(登下校・園日誌・保護者連絡等)専用アプリ、LAN工事。

園児用椅子の廃棄。

《借入金関係》

なし

《修繕等》

給水管改修工事、C棟・A棟・ウッドデッキ・受水槽工事、電気給湯器修理、ピアノ調律、
各種点検等。

《その他》

債券を購入。同法人市原マリア・インマクラダ幼稚園へ資金を貸付。

(倉敷マリア・インマクラダ幼稚園)

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員		20		40		40		40		140
2021年度		21		32		47		39		139
2022年度		15		41		35		45		136
2023年度		20		36		41		33		130

《保育時間》

月～金曜日

① 午前8時15分～午後1時45分(但し、水曜日は午前10時45分まで)

② 午前8時40分～午後2時10分(但し、水曜日は午前11時10分まで)

土曜日 休園

《納付金等の費用》

施設設備費 月額 1,000円
消耗教材費 年額 4,500円
給食費 月額 2,500円
絵本代 年額 11,000円(3歳以上児)
バス維持費 年額 6,500円
バス利用料 月額 4,500円
駐車場維持費 月額 300円

《入園時の費用》

入園料 30,000 円

検定料 3,000 円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日

午前 7 時 15 分～保育開始時 200 円/時

保育終了後～午後 6 時 150 円/時・9,000 円/月

午後 6 時～午後 6 時 30 分 200 円/時

・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

午前 7 時 30 分～午前 8 時 30 分 250 円/時

午前 8 時 30 分～午後 6 時 1,800 円/日

午前 8 時 30 分～午後 1 時 30 分 900 円/日

午後 1 時～午後 6 時 900 円/日

午後 6 時～午後 6 時 30 分 250 円/時

《主な行事》

入園式、交通安全教室、キンダーフェスティバル、体操教室参観、お泊り保育（年長）、運動会、火災避難訓練、体操教室参観、マリアまつり、七五三祝福式、クリスマスお祝い会、おもちつき、体操教室参観、茶道参観（年長）、お別れ遠足（年長）、お別れパーティー、卒園式、母親の集い、誕生日会（各クラス）

《施設関係》

園地面積 930.16 m² 内、運動場面積 651.67 m²

《固定資産関係》

園庭築山改修工事（滑り台他）、ユニット砂場、吊り輪、スポットライトの取得。

《借入金関係》

園舎改築のため、(宗)汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会から借入したものを一部返済した。

《修繕等》

園庭集水桝内水中ポンプ取替工事、トイレ フラッシュバルブ交換等。

《その他》

園長のみなし退職により退職給与引当特定資産を計上。

（市原マリア・インマクラダ幼稚園）

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			3	70	2	70	2	70	7	210
2021年度		13		31		46		53	6	143
2022年度		17		24		31		47	4	119
2023年度		25		33		26		30	4	114

《園児数》

《保育時間》 ※2022年度より登降園時刻一斉

月～金曜日

午前8時30分～午後2時45分（但し、水曜日は午前11時30分まで）

土曜日 休園

《納付金等の費用》

保育料	年額	312,000円	（12分割均等納付、25,700円/月無償化）
施設費	年額	20,000円	
モンテッソーリ教育充実費	年額	3,000円	
冷暖房費	年額	5,000円	
給食費	月額	2,100円	
給食食器代	年額	1,100円	
絵本代	月額	年長・年中 435円	・ 年少 495円
バス維持費	年額	5,000円	
バス利用料	月額	4,500円	

《入園時の費用》

入園料	80,000円
検定料	3,000円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日

午前7時30分～保育開始時・保育終了後～午後6時30分

100円/時・10,000円/月

・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

午前7時30分～午後6時30分 100円/時

《主な行事》

入園式、マリア祭、年長遠足、運動会、お泊り保育（年長）、火災避難訓練、お芋掘り遠足、七五三祝福式、クリスマスお祝い会、おもちつき、豆まき、人形劇、ひな祭りお楽しみ会、卒園遠足（年長）、卒園式、保護者の集い、クラスレク、誕生日会

《施設関係》

園地面積 1,685.02 m² 内、運動場面積 729.72 m²

《固定資産関係》

駐車場作成工事、新館前テラス工事、ホール天井埋め込み式空調設備工事、職員室エアコン、送迎バス、パソコンを取得。

エアコンを廃棄。

《借入金関係》

本館塗装修繕工事のため、千葉興業銀行から借入したものを約定返済した。

通園バス・車庫その他の構築物取得、事務室の建築及び運転資金のため、(宗)汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会から借入したものを完済した。

《修繕等》

廊下床下修繕工事、ピアノ調律、修理、調整料、垣根他選定作業、園庭樹木消毒工事、

消火栓設備工事、園内遊具解体工事代等

《その他》

同法人高槻マリア・インマクラダ幼稚園より資金を借入。

《事業報告》

新型コロナウイルスは、2022年度も感染は治まることなく続いたが、感染症対策を行いながら保育及び行事を実施した。2023年5月8日に感染症法上の2類相当から季節性インフルエンザ等の5類へと分類変更されたが、園全体の安全を第一に、状況をみながら対応していくこととする。

2022年の出生数は79万9千人（日本人の確報ベースでは77万人）と前年に引き続き過去最低を更新した。婚姻率が一段と低下する一方、新型コロナウイルスによる既婚女性の出産控えもあり、このままでは少子化が想定以上に加速すると考えられる。

このような中、岸田総理大臣は、出生率を反転させるため、異次元の少子化対策実現を表明し、4月に子ども家庭庁をスタートさせ、「こども未来戦略会議」を開催し、6月の骨太方針までに将来的なこども・子育て予算の倍増に向けた大枠を示す決意を改めて表明した。政府の少子化対策については今後も注視しつつ、その中でも園児を確保できるよう、園児募集や園の在り方について検討を重ねていくこととする。

一方、教職員採用については、一般的に厳しい状況ではあるが、幸いモンテッソーリ教育に興味を持つ方や卒園児がインターンで実習を積み、その中からやる気のある教職員を確保できている。今後もモンテッソーリ教育や園の魅力を発信していけるよう努力していきたい。

また、第211回国会において、私立学校法の改正が衆議院で可決され、「執行と監視・監督の役割の明確化・分離」の考え方から、評議員・評議員会の権限強化の見直しを中心に、寄付行為の全面改訂の手続きが予定される。

2015年4月より子ども子育て支援新制度がスタートし、新制度への移行が進む中、倉敷マリア・インマクラダ幼稚園は、2022年度より施設型給付の幼稚園として運営を開始したが、高槻マリア・インマクラダ幼稚園と市原マリア・インマクラダ幼稚園は、2023年度も私学助成で事業を継続する。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙を別紙のとおり纏め公表に努めた。

財務状況については、高槻マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が204,031千円（前年度189,894千円）、教育活動支出計が179,734千円（前年度178,663千円）となり、教育活動収支差額24,297千円（前年度11,230千円）、経常収支差額比率11.93%（前年度5.92%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、48.62%（前年度51.51%）となった。

倉敷マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が128,618千円（前年度96,635千円）、教育活動支出計が93,872千円（前年度74,047

千円) となり、教育活動収支差額 34,746 千円 (前年度 22,587 千円)、経常収支差額比率 27.02% (前年度 23.37%) となった。

また、人件費比率 (人件費/教育活動収入計+教育活動外収入計) は、47.72% (前年度 40.40%) となった。

市原マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が 96,428 千円 (前年度 121,631 千円)、教育活動支出計が 101,266 千円 (前年度 116,701 千円) となり、教育活動収支差額△4,837 千円 (前年度 4,888 千円)、経常収支差額比率-5.04% (前年度 4.02%) となった。

また、人件費比率 (人件費/教育活動収入計+教育活動外収入計) は、65.02% (前年度 58.97%) となった。

学園全体では、経常収支差額が 47,365 千円 (前年度 33,196 千円) となった。

資金繰りについては、翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金 (第 4 号基本金) の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況

別紙参照